

KIT男女共同参画推進センター第10回セミナー 「ダイバーシティ時代のキャリアー未来を拓く自分をいかす選択ー」を開催しました。

平成 28 年 11 月 9 日（水）午後、本学 60 周年記念館 2 階大セミナー室にて、KIT 男女共同参画推進センター第 10 回セミナー「ダイバーシティ時代のキャリアー未来を拓く自分をいかす選択ー」を開催いたしました。

大谷センター長の開会挨拶に続き、株式会社ユーシン精機代表取締役社長の小谷真由美氏に「できない、無理だ、は出発点ーグローバル展開への挑戦」と題して、ご講演を行っていただきました。プラスチック製品取出口ロボットで国内のみならず世界トップシェアを誇る技術力と、企業経営力や人材育成などについて、創業者語録を紹介してお話がありました。「品質は社運を決める」・「できない、無理だ、は出発点」・「ひとつのテーマには、少なくとも 7 つの解決法を考えよ」ーこれら語録は企業や組織だけではなく、個人の生き方、働き方にも通じるものであり、これからのキャリアプラン、ライフプランを考える大きなヒントをいただきました。

次に、「働いてわかることー道はない・踏めばできる」と題して、本学卒業生で奈良県立医科大学第 1 解剖学教室講師の堀井謹子氏にご講演を行っていただきました。大学時代のこと、働き始めて気づいたこと、研究への自覚、苦しい時に出合った言葉、子どもを産んで経験したことなどを具体的にお話していただきました。就職、結婚、出産、子育てと様々な選択に迫られる 20 代、30 代。「共働き」で「核家族世帯」という現代社会の典型でもある堀井氏から身近なロールモデルとして、自分の好きなことを見つける大切さやそのための選択、決断を学びました。

最後に、本学機能物質化学専攻長で分子化学系の亀井加恵子教授の閉会挨拶でセミナーは終了しました。

セミナー終了後には意見交換会を行い、講師の方と気軽に仕事の内容や家事、育児との両立（ワークライフバランス）の工夫、海外と日本との違い、女性のキャリアアップなどについて語り合い、交流を深めました。

参加者アンケートでは、約 86% の人が「参考になった」と答え、「今後の人生について考えるきっかけになりました」や「違う立場からの人の話を聞けて、おもしろかったです」、「がんばろう、と思えるような話をきき、すごく為になっています。お二人の名言、胸にひびきました」などの感想が寄せられました。



講師 小谷真由美氏



講師 堀井謹子氏



第 10 回セミナーの様子

研究とライフイベントの両立支援

研究支援員制度

出産・育児や介護などライフイベント期にある女性研究者等の研究活動を支援するため、大学院生等を研究支援員として配置することによって、研究活動の継続・進展を図る本学の制度です。小学校6年生までの子どもを養育中の方、または親族（同居、別居は問わない）を介護している研究者の方などが対象となります。配偶者が研究職の男性研究者も利用できます。

平成28年度（前期・後期）利用状況

	利用教員数	利用事由
前期	12名（女性11名・男性1名）	育児11名・介護1名
後期	11名（女性10名・男性1名）	育児10名・介護1名



育児支援

ベビーシッター育児支援（割引券）制度

本学では教職員を対象に、公益社団法人全国保育サービス協会が行っている「ベビーシッター育児支援事業」によるベビーシッター費用の一部補助（割引券）を行っています。

対象となる子ども：0歳～小学校3年生の乳幼児・児童

利用条件：家庭内における保育（家庭以外での利用は不可）、保育所等への送迎

割引内容：1日あたり2,200円

利用方法：割引券の発行・利用には、事前の申し込みが必要

KIT 男女共同参画推進センター（内線7757）にお問い合わせください。



仕事と生活の両立実践報告

平成28年6月8日（水）午後、京都産業大学で行われました女性研究者研究活動支援事業「教職員セミナー 成果を出すための工夫—仕事と家庭の両立—」で、本学デザイン・建築学系の清水重敦准教授が講演を行いました。

清水准教授はご夫婦ともに研究者で、子育て中の両立支援として「研究支援員制度」を利用している実践例を紹介されました。家事、子育ての分担や工夫、研究成果、支援員となる大学院生のスキルアップなどについて具体的に報告されました。

京都大学白眉センターで研究支援員制度を利用されている小石かつら特定助教の利用報告の後、京都産業大学法学部の高畠淳子教授と3名によるパネルディスカッションを行い、この制度の有用性や使い勝手、子育て中の働き方について、参加者のみなさんと理解を深めました。



清水准教授による講演の様子

センター提供科目開講

平成 27 年度に引き続き、KIT 男女共同参画推進センター提供科目として、「ジェロントロジー入門（超高齢社会のユニバーサルデザイン）」を本学大学院生を対象に開講しました。

高齢社会の諸問題を正しく認識し、高齢者の身体や精神状態、高齢社会を支える技術やデザインのあり方、長寿時代の生き方や老い方について学びました。また、心理学的側面から高齢時代の人生デザイン、長期のライフキャリアデザインについてもアプローチし、老若男女がともに生き生きと暮らす多様なあり方について学びを深めました。

受講学生からは、「老後どうなりたいか、どう過ごしたいかを具体的にイメージすることが必要だと感じた。」や「様々なノウハウを持つ高齢者だからこそ、新しい観点で地域社会の課題解決策を生み出せるのでは。」「最期まで人間らしくあり続けることのできるサービスのもつ意味を考えさせられた。」「自分の人生を振り返り、考察することで明るい未来を想像するワークを楽しめた。」「加齢へのネガティブな思い込みがあった。」「今回、自分の考えを整理できて、自分にとって何が大切に気づいた。」などの意見が寄せられました。

開講時期：平成 28 年度 春学期

担当教員：大柴 小枝子 教授（本学 電気電子工学系）

関根 千佳 教授（同志社大学大学院総合政策科学研究科）

日下 菜穂子 教授（同志社女子大学現代社会学部）



関根教授による講義風景



日下教授による講義風景

女性若手研究者の紹介

本学広報誌「KIT・NEWS 43号」（2016年11月）の巻頭特集で、「輝く！女性若手研究者たち～大学戦略推進機構系グローバルエクセレンス～」と題して、本学で活躍する女性若手研究者が紹介されました。研究分野や環境のこと、家庭や子育てとの両立のこと、これからの夢などが語られています。

（「KIT・NEWS 43号」より）

特集 (1)

輝く！女性若手研究者たち ～大学戦略推進機構系 グローバルエクセレンス～

井戸 英里 博士 平成28年1月専任
【研究テーマ】日本の社会課題、特に高齢化社会における高齢者の生活支援に関する研究。高齢者に対する生活支援に関する研究。高齢者に対する生活支援に関する研究。高齢者に対する生活支援に関する研究。

関根 千佳 教授 平成28年3月専任
【研究テーマ】高齢者の生活支援に関する研究。高齢者に対する生活支援に関する研究。高齢者に対する生活支援に関する研究。高齢者に対する生活支援に関する研究。

日下 菜穂子 教授 平成28年3月専任
【研究テーマ】高齢者の生活支援に関する研究。高齢者に対する生活支援に関する研究。高齢者に対する生活支援に関する研究。高齢者に対する生活支援に関する研究。

西崎 友規子 博士 平成27年3月専任
【研究テーマ】高齢者の生活支援に関する研究。高齢者に対する生活支援に関する研究。高齢者に対する生活支援に関する研究。高齢者に対する生活支援に関する研究。

卓越した業績や将来性が認められる若手女性研究者に、自立した研究の機会を用意し支援することを目的とした特種プログラム。平成26年度にスタートし、今、さまざまな分野で12人の研究者が、熱くしなやかに活躍しています。現在、彼女たちを取り巻く環境とはどのようなものなのでしょうか。

結婚・子育てへの理解表明がうれしい

1. 本学の特長として、結婚・子育てに関する理解表明がうれしい。結婚・子育てに関する理解表明がうれしい。結婚・子育てに関する理解表明がうれしい。結婚・子育てに関する理解表明がうれしい。

2. 結婚・子育てに関する理解表明がうれしい。結婚・子育てに関する理解表明がうれしい。結婚・子育てに関する理解表明がうれしい。結婚・子育てに関する理解表明がうれしい。

3. 結婚・子育てに関する理解表明がうれしい。結婚・子育てに関する理解表明がうれしい。結婚・子育てに関する理解表明がうれしい。結婚・子育てに関する理解表明がうれしい。

4. 結婚・子育てに関する理解表明がうれしい。結婚・子育てに関する理解表明がうれしい。結婚・子育てに関する理解表明がうれしい。結婚・子育てに関する理解表明がうれしい。

本学 HP に広報誌を掲載しています。 <https://www.kit.ac.jp/>

内閣府 第1回理工系女子応援ネットワーク会議に参加

平成28年10月20日(木)に開催されました、内閣府「第1回理工系女子応援ネットワーク会議」にセンター職員が参加しました。

まずは、内閣府からの理工チャレンジ及び理工系女子応援ネットワークに関する説明や経済産業省から「理系女性活躍促進支援事業」、文部科学省から「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」の事業説明がありました。

次に、先進的な取組として静岡大学及び理系女子未来創造プロジェクトによる取組について報告がありました。その後、参加52団体がグループに分かれて、取組事例の情報交換や女子生徒等の興味を引く企画内容や参加周知の工夫などについて意見交換を行いました。今後の取組の参考となる有意義な時間となりました。



女性研究者の受賞

平成28年4月、本学大学戦略推進機構系グローバルエクセレンスの北村恭子講師が、平成28年度科学技術分野の文部科学大臣表彰(若手科学者賞)を受賞しました。

文部科学省では、科学技術に関する研究開発、理解増進等において顕著な成果を収めた者について、その功績を讃えることにより、科学技術に携わる者の意欲の向上を図り、我が国の科学技術水準の向上に寄与することを目的とする科学技術分野の文部科学大臣表彰を定めています。

若手科学者賞は、萌芽的な研究、独創的視点に立った研究等、高度な研究開発能力を示す顕著な研究業績をあげた40歳未満の若手研究者を対象とし、北村講師は「長焦点深度かつ微小集光可能な半導体レーザーに関する研究」において顕著な功績をあげたとして、このたびの受賞が決定しました。



表彰を受けた北村恭子講師

女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画

本学は、女性の活躍および男女共同参画の推進と充実を図っております。中期目標・中期計画において、「管理職等の指導的地位への女性登用を推進し、役員のうち1名以上、管理職の25%以上を女性で登用する」と掲げ、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」(女性活躍推進法)に基づく行動計画を策定し、実現を目指しています。

国立大学法人京都工芸繊維大学 行動計画

指導的地位への女性登用を推進し、女性が管理職として活躍できる環境の整備を行うため、次のように行動計画を策定する。

計画期間：平成28年4月1日～平成33年3月31日

目標：1 役員のうち1名以上を女性で登用する。

2 管理職に占める女性割合を25%以上にする。

～応援します！研究と生活の両立～ ◇◇京都工芸繊維大学 KIT 男女共同参画推進センター◇◇

住所 〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町 京都工芸繊維大学 2号館南棟 1階 134号室

TEL・FAX 075-724-7757 (内線 7757)

Eメール sankaku@kit.ac.jp ホームページ <http://www.sankaku.kit.ac.jp/>